

今号の主な記事

- ◇3月29日「山手幹線」開通 ……2面
- ◇子育て総合センター
4月から月曜日、祝日も開館します ……2面
- ◇「西宮さくら祭」開催 ……4面
- ◇保健だより ……8面

「中核市・西宮」誕生

より魅力的なまちづくりへの出発点



子どもたちの笑顔輝くまちづくりを進めます

4月、いよいよ「中核市・西宮」が誕生します。中核市は、政令指定都市に次ぐ大都市制度です。兵庫県下では姫路市に次ぐ中核市の誕生になります。中核市移行により、県からの事務や権限が移譲され、市民の皆さんに一層身近なところで、よりきめ細かく・迅速に・質の高い市民サービスを提供できるようになります。問合せは中核市担当グループ(0798・35・3540)へ。

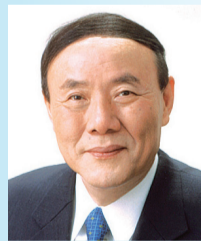
※中核市移行にともない、窓口が変更になる主な事務と担当課を2面で紹介しています。詳しくは市のホームページ(アドレスはページ下参照)の「プロフィール・中核市」でもご覧になれます

4月、本市は中核市として、まちづくりの新たなステージを迎えます。山、川、海の美しい自然、発達した交通網、個性ある学校や活発な市民活動など、本市の魅力は多くの皆様に愛され、豊かな生活文化を築き、まち・文教住宅都市として発展してきました。このたびの中核市への移行は、永年にわたり市民の皆様をはじめ、商工業関係者の皆様、市議会として行政が一体となって共に進めてきたまちづくりが高く評価されたものであります。

中核市として移譲された多くの権限を活用し、市独自の創意工夫により一層質の高い市民サービスの向上に取り組み、役割と責任を果たしてまいります。中核市への移行は、より魅力的な都市になるための出発点であります。市民の皆様、「輝く未来・ふるさと西宮」を共につくりましょう。

西宮市長

山田知



本市は、中核市として次の時代への扉を開き、輝かしい未来への第一歩を踏み出すことになりました。心からお喜び申し上げます。

今、本市は、多くの皆様が移り住みたいと思うまちとして成熟し、各所で都市の核づくりが進み、名実ともに魅力的なまちとして変貌(ぼう)しようとしています。中核市として多くの権限移譲を受けると同時に、果たすべき役割と責任も格段に重くなります。そのようななか、今後中核市として着実に発展していくためには、市議会としても、市当局と連携を密にし、手をたずさえ、また十分に協議を重ね、「中核市になってよかった」と実感できるような、一層創意工夫に努めてまいりたいと決意を新たにしておりますので、市民の皆様のご支援とご理解をいただきますよう、お願いいたします。

西宮市議会議長

岩下彰



4月5日に
アミティホールで

記念式典を開催

4月5日午後1時半(開場は1時)から市民会館アミティホールで、「中核市移行記念式典」を開催します。

移行式典のほか、中核市移行を記念した作文コンクールの表彰式・優秀作品発表を行います。また、NHK「生活笑百科」でおなじみの弁護士・三瀬顕さんを講師に招き、記念講演「身近な生活笑百科」市民主体・地域主体のまちづくりに向けても開催します。入場無料、申込不要ですので、ぜひご来場ください。問合せは中核市担当グループへ。

三瀬顕さん



※満員の場合には入場を制限させていただきます。場合が異なります。

中村友梨香さん

オリンピック出場おめでとう

夙川小学校、大社中学校、県立西宮高校出身の中村友梨香さんが、北京オリンピック女子マラソンの日本代表に選ばれました。おめでとうございます。オリンピックでの活躍を心から期待します。

推計人口 47万7202人(女25万866人、男22万6336人)
世帯数 20万642 面積 100.18km² 平成20年(2008年)2月1日現在